

よつば通信



令和5年6月 23 日
魚津市立よつば小学校
第3号

URL www.yotsuba-e.tym.ed.jp

相手はどう感じて(思っ)ているかな



自分が伝えたいことが、正しく相手に伝わらなかったという経験をお持ちの方はいらっしゃるいませんか。相手からの感想や意見を聞いて、「え？そういうことではなかったのだけれどな・・・」と、追加で説明をすることもあります。

「どう伝えたか」より、「どう伝わったのか」という意識をもつことで、互いのコミュニケーションがより円滑になるのかもしれません。

学校では、授業中はもちろん、学校生活の様々な場面で「友達が分かるように話すこと」、「友達の話を分かってもらうとして聞くこと」を大切にしています。

学び合い



「三人寄れば文殊の知恵」とはよく言ったもので、一人で考えるより、仲間と知恵を出し合いながら答えを探し、練り上げることで、より深い学びが実現します。

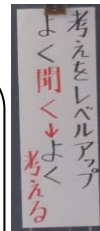
そこで、授業の中に「学び合い」の場を設け、友達の考えを聞いたり、自分の考えを伝えたりしながら学習を進めています。子供たちが「分かった」「できた」と実感できるよう、今後も授業のバージョンアップに努めていきます。

～授業の様子から～



【クラス全員で考える】

互いの表情を見ながら、友達の考えを分かってもらうとして聞きます。話す子も、真剣に聞く友達の様子を見て、自ずと分かるように話そうとします。この相乗効果で学びが深まることを期待しています。



【フリー交流】

意見を聞いてみたい友達のところへ行き、考えを交流します。

【ペア、グループ学習】

近くの友達と考えを確かめ合ったり、教え合ったりします。



子供たちのノートに書かれた「初めは～と考えていたけれど、〇〇さんの考えを聞いて、～～ということに気がきました」、「〇〇さんのおかげでどうして～なのかという理由が分かりました」といった振り返りから、学びの広がりや深まりを感じることができます。**仲間を大切に**して、互いに高め合い、共に成長していってほしいです。

